

2012年11月13日開催 第573回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 佐藤卓己委員
佐藤友美子委員 東野博昭委員 若菜英晴委員

■ 毎日放送出席者

河内社長、松島専務、榎本常務、河村取締役、梅本取締役、東取締役
立野コンプライアンス室長、上野プロデューサー

◆ 審議事項

(1) 報告事項

訂正放送について

尼崎の連続不審死事件に関して、10月31日に実施した訂正放送について、
コンプライアンス室長が報告した。

(2) テレビ番組「向井理の熱血授業SP 世界の夢を見にいこう」

9月8日(土) 14:00~15:24 放送のテレビ番組「向井理の熱血授業SP 世
界の夢を見にいこう」について意見を交換した。

各委員の主な意見は次の通り。

- ・向井理は、本人が真剣に考えて答えているというメッセージを受け取ったので、好感が持てた。人選が全体にうまくいっていて、違和感なく見られた。
- ・一番見てもらいたい若者に見てもらえる時間の放送は難しかったのか、それが残念。
- ・「世界ウルルン滞在記」で長年培ってきた財産や、出会いが活かされていることはとても貴重な。
- ・「夢が持てぬ日本の若者」という、ステレオタイプのな図式、メディアが主につくっているイメージだが、この上に乗っかり過ぎの印象を持った。
- ・感動を引き出すとか、お涙ちょうだいのお話だとか、そういう場面がなくて、淡々と

相手と交流をしているのが非常によかった。

- ・カンボジアの今を伝え、その夢に一生懸命向かっている人たちの輝いた目を伝え、自分たちも何か夢を持てるといいねというメッセージを発信している。
- ・夢を持ちにくくなっていると言われる日本の若者に向けて、とても良質で中身が濃いメッセージを発信している。
- ・向井理・尾木氏による「世界の夢を見にいこう」一時間シリーズに期待。

以上